


富士見市協働事業提案制度 令和4年度採択協働事業

事業の名称	こども対話カフェ(こども対象哲学カフェ)事業	
提案者	対話カフェつむぎ	
市担当部署	教育相談室	
主な活動場所 (施設名等)	富士見市内	
構成員	市内在住 3名 市内在勤・在学 0名 市外在住 0名 合計 3名	
団体設立年月	令和3年5月	
事業期間	令和5年4月1日 ～ 令和6年2月29日	
事業の目的 (要約)	不登校状態にある児童や生徒が、学校現場や地域で、自らの思いや考え、生きづらさ等を主体的に言葉にすることのできる「対話の場」を創出するとともに、子どもの権利・人権についての理解を深め、互いの抱える多様性や違いを認め合い、互いの思いや考えを大切に聞きあうことができるための「対話の方法」を身につける機会を設ける。	
事業の内容	子どもを対象とした、参加体験型の「こども対話カフェ」(「こども哲学」の形を取った対話の場)の開催	
事業予算額	市補助金 73,000 円 団体負担金 0 円 合計 73,000 円	
協働の必要性と 役割分担	<p>1 協働の必要性</p> 人権教育としての意義を市民に広く理解してもらうとともに、学校現場や教育相談室等において、子どもたちに参加体験型の人権教育の機会を提供するため、協働が必要。 <p>2 提案団体の役割</p> 市内各所における事業・イベントの企画・案内・運営・広報 <p>3 市の役割</p> 事業・企画についての助言、イベント・企画の広報、会場の確保	